

(別紙4(2))

事業所名 養老の泉パートⅡ

目標達成計画

作成日: 平成 30年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	1	利用者に対する対応に職員間でばらつきがあり、「利用者本位」の本質の共通理解ができていない。	字面や言葉だけの「利用者本位」ではなく、実際の自分の行動や考え方としての利用者本位を確立する。	・とにかく無理強いしない。 ・周りに直接危険や不安を与える言動以外は、ひとまず認めたくえで次の対応を取る。 ・本人が聞こえる範囲で本人の話をしない。 ・これまで得てきた基本的な介護を実践する。 3ヶ月
2	4	地域連携について、地域と職員の間隔がある。	地域になじむ	主に、事業所主催の行事に参加してくれる地域住民の方たちとの交流を深めることから始める。 12ヶ月
3	33	重度化、終末期に向けた方針の具体的な共有ができていない。	利用者が終末期に差し掛かった際、個々の職員の経験とマニュアルをもとに、全職員が同じレベルの対応が取れるようにする。	職員の経験を織り込んだマニュアルを作成し、全職員に周知する。 6ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。